

令和元年6月30日  
今週のベストショット



青松園A 奈多クラブ 対 奈多サンデーズ

三回裏、5失点を取り返す逆転満塁HRを放ち迎えられる奈多サンデーズ塚本選手。

写真：三友クラブ 大坪 和則

青松園A 一挙11点の猛攻で奈多サンデーズが奈多クラブに逆転勝利！

奈多クラブ (4勝1敗) 20300 5 吉田●、馬場口ー安河内

奈多サンデーズ (4勝2敗) 01113× 15 塚本○、砂場ー八島

HR：塚本 (奈多サ) 3BH：古賀 (奈多サ) 2BH：今林 (祐)、上野 (奈多ク) 八島2、砂場 (奈多サ)

盗塁：今林 (賢) (奈多ク) 川原 (正) (奈多サ)

大雨予報は外れ曇り模様の天候の中、現在4勝無敗で同率首位の奈多クラブと、3勝2敗で追う奈多サンデーズとの試合は始まった。先発は奈多クラブ吉田投手と、奈多サンデーズ塚本投手。初回、奈多サンデーズ塚本投手は、奈多クラブ一番今林 (祐) 選手を三振に取り順調な滑り出しかと思われた。しかし、奈多クラブ二番上野選手のヒット等で一死一三塁のピンチを招くと、四番馬場口選手の内野ゴロと、続く五番安河内選手のタイムリーヒットを浴び2点の先制を許す。対する奈多サンデーズは二回裏、四番八島選手がレフト線へ鋭い二塁打を放つと、吉田投手の連続四球で一死満塁のチャンス。ここで八番塚本選手がきっちりとセンターに大きな犠牲フライを放ち1点を返す。しかし三回表、奈多クラブ打線が火を噴く！先頭の一今林 (祐) 選手が右中間を破る二塁打を放つと、続く今林 (賢) 選手のセンター前ヒットで無死二三塁。そして三番上野選手のライトを大きく越える二塁打で2点。続く馬場口選手、安河内選手もセンター前ヒットを放ち、奈多クラブ上位打線の5連打で3点を追加。三回表を終わって5-1と奈多クラブ打線が好調で一方向的な試合になるかと思われた。しかしここからサンデーズの大反撃が始まる。三回裏、奈多サンデーズ一番古賀 (開) 選手が左打者ながらもレフトを大きく越える三塁打で出塁し、二番川原 (正) 選手のセーフティバントで無死一三塁。三番砂場選手の内野ゴロの間に1点を返す



と、四球で無死満塁となったところで、五番近藤(崇)選手がレフト前タイムリーを放ち2点目。更に押し出しで1点差とすると、一死満塁から八番塚本選手がドカンと左中間を破る満塁HRを放ち、遂に奈多サンデーが逆転！更に打者一巡の攻撃が続き、三番砂場選手のタイムリーヒットもあって、この回11得点を挙げる猛攻。四回表、奈多クラブは一番今林(祐)選手がライトへのヒットを放って気を吐くも、後が続かず得点できず。四回裏にも奈多サンデーは八島選手のタイムリー二塁打等で3点を入れ10点差。五回表からマウンドに上がったサンデー砂場投手が奈多クラブ打線を無失点抑え、五回コールドで奈多サンデーが奈多クラブを破った。奈多クラブのチャンスを確実に得点する打線も素晴らしかったが、リードされながらも焦らず確実に得点を重ねた奈多サンデーの打線も素晴らしかった。奈多サンデー田中監督曰く「ポイントはやはり三回裏の攻撃でした」とのこと。八島選手は「雨予報で、(相手も合わせて)みんな起きているか、試合に揃うのか、体は動くのか心配だった」とのことでした。(記事：三友クラブ 駄原 孝一郎、写真：大坪 和則)



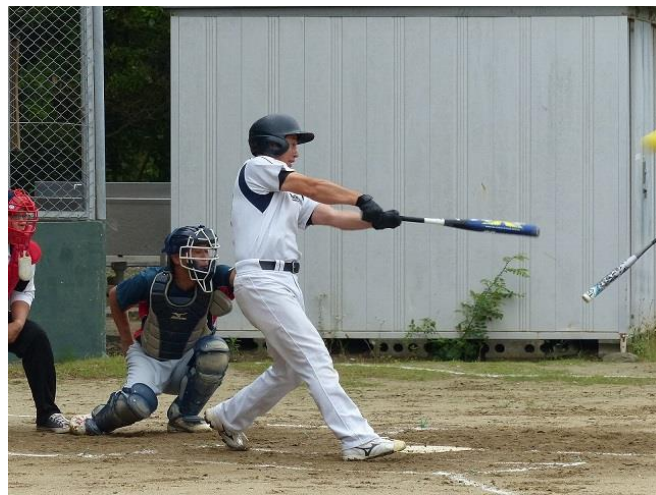
奈多サンデー先発の塚本投手。



奈多クラブ先発の吉田投手。



一回表、左前タイムリーを放つ奈多クラブ五番安河内選手。



三回表、右中間二塁打を放つ奈多クラブ一番今林(祐)選手。



三回表、センター前ヒットを放つ奈多クラブ二番今林(賢)選手。



三回裏、三塁打を放ち笑顔のサンデー一番古賀(開)選手。





三回裏、セーフティバントを決めるサンデーズ二番川原(正)選手。



レフト前タイムリーを放つサンデーズ五番近藤(崇)選手。



ショートゴロを本塁封殺する奈多クラブ上野遊撃手。



満塁HRを放ちベンチで祝福を受けるサンデーズ八番塚本選手。



コツンとレフト前ヒットを放ち笑顔のサンデーズ六番佐護選手。



惜しくもサードライナー奈多クラブ九番今林(常)選手。



四回裏、2本目の二塁打を放つサンデーズ四番八島選手。



五回表、出塁を狙ってのスイング！奈多クラブ六番松田選手。





投より打（1 HR 5 打点）で大活躍のサンデーズ塚本選手。

### 雁レク7 投打がかみ合い三球会の大勝！！

和白新町パイレーツ（5敗1分）00000 0 吉田●—大濱  
 三苫三球会 （4勝1敗）21601× 10 池上○—半田

HR：大津、藤澤（三球会）盗塁：大津（三球会）

一回表を難なく抑えた池上投手を援護したい三球会は、先頭打者の船橋選手のライト前ヒットから3四死球を加え、幸先よく2点を先制。続く二回裏も大津選手のセンター前タイムリーで1点を追加し、3-0と試合を優位に進める。二回まで完全に抑えられていたパイレーツ打線は、三回表二死から小林選手がチーム初安打となるライト前ヒットで出塁するも、後続の八坂選手が三振で池上投手を攻略できず。その裏、三球会は無死一塁で藤澤選手が左中間を破る本塁打を放ち2点を追加。その後、二死となるも相手エラーや大津選手の本塁打で合計6得点のビッグイニングとした。反撃の為に何とか出塁したいパイレーツだが、好投手池上投手の多彩な変化球を交えたピッチングを攻略できない。最終五回裏に三球会が1点を加え10-0のコールドでゲームセット！！三球会の投打を底力が浮き彫りに出た試合だった。（記事：ソルトベイスターズ 坂本 皓祐 写真：酒井 哲朗）



両軍挨拶。



三苫三球会先発の池上投手。



和白新町パイレーツ先発の吉田投手。



大ベテラン田中選手も奮闘むなく三振！！



五回裏試合を終わらせるセンター前を打つ濱口選手。

### 青松園B 大量得点で三苦フレンズが勝利！！

ブルーマーリンズ（6敗）00025 7 山口○、生野（拓）ー佐藤（由）

三苦フレンズ（4勝1敗）3642× 15 横山（祥）●ー横山（健）

HR：佐藤（由）（三苦フ）尾田（ブルー） 2BH：山内（三苦フ）、糸井（ブルー）

盗塁：松田（三苦フ）小柳（ブルー）

前日の悪天候で少しグランドコンディションが悪かったせい、ブルーマーリンズの横山投手が初回から制球に苦しみ、二回までに被安打2本で9点を与えてしまいブルーマーリンズは苦しい展開となる。一方の三苦フレンズ山口投手は、三回まで被安打1本で毎回三振を奪うさすがの投球内容で生野選手に後を託した。一矢報いたいブルーマーリンズは代わった生野投手から先頭の末松選手が死球で出塁すると三番尾田選手が本塁打を放ち2点を返した。しかしその裏、フレンズの佐藤選手も本塁打を放つなどすかさず2点を取り返し再び引き離す。ブルーマーリンズは最終回に二死から三者連続で四球をもぎ取り四番の糸井選手が二塁打を放つなど5点を返す意地を見せたが序盤の失点が響きフレンズの勝利となった。（写真、記事：奈多フェニックス 實延 新伍）





三苦フレンズ先発の山口投手。



ブルーマーリンズ先発の横山投手。



二回裏、チーム初ヒットとなるタイムリーを放つ松田選手！



ブルーマーリンズ二番手の児玉投手。



二回裏、右前タイムリーを放つ佐藤（博）選手。



四回表、本塁打を放つブルーマーリンズ尾田選手。



本塁打と好リードのフレンズ佐藤（由）選手。



本塁打のブルーマーリンズ尾田選手。



## 奈多グラウンド 少数精鋭、ホーネッツ！

三苦ホーネッツ (5勝) 101001 3 川原○一堺 (恭)

塩浜ジャガーズ (2勝3敗1分) 100000 1 末永、立石●一猪野

HR: 川原 (三苦ホ) 3BH: 末永 (塩浜) 2BH: 堺 (恭) (三苦ホ) 一ノ瀬 (塩浜ジ)

盗塁: 井手 (涼)、矢野 (義) (三苦ホ)

総勢14名の塩浜ジャガーズに対し、三苦ホーネッツは中村監督を除くと丁度9名というチーム状況。どうい  
う試合展開になるか見ものであった。一回表ホーネッツは、一番川原選手の先頭打者HRでいきなり先制。しか  
しその後走者は出すものの得点には結びつかない。一回裏ジャガーズは、先頭の一ノ瀬選手が右前に落ちる単打  
ながら好判断で二塁を陥れる。後続が凡退し二死三塁となるも打席には四番末永選手。ここで末永選手が左中間  
を深々と破る適時三塁打を放ち同点とする。この日に限っては、層の薄いホーネッツを攻め立てたいところだっ  
たが、ジャガーズの得点はこの1点のみ。一方ホーネッツは少数であろうと安定の攻撃力で着実に得点を重ねる。  
ホーネッツ先発の川原投手は二回以降許した安打はわずか2本。ホーネッツはベストメンバーではないにも関わ  
らず、危なげない試合展開で無傷の5勝目を挙げた。(記事: 雁の巣ライナース 明瀬 旭、写真: 宇野 元康)



塩浜ジャガーズ先発の末永投手。



一回裏、先頭で安打を放つジャガーズ一番一ノ瀬選手。



一回裏、ジャガーズ四番末永選手の適時三塁打。



ホーネッツ先発の川原投手。



ジャガーズ二番手の立石投手。



四回裏、ジャガーズ九番道喜選手の絶妙なバント。



六回表、先頭で二塁打を放ったホーネッツ四番塚（恭）選手。